

第3部会 地域活動、防災・防犯分野

2 10年後の未来予想図

コミュニティ「人と人とのつながりが織りなす地域力日本一のまち」

デジタル技術の社会実装や国際化がさらに進展し、コミュニティのあり方も多様化していきます。既存のコミュニティと新しいコミュニティがゆるやかに重なり合いながら、人と人とのつながりによって、地域の風情を守りつつ、課題に向き合い、解決していくまちをめざします。

■つながりを重ねて、広げる

地縁・学校・趣味・防災・福祉、すみだには人とつながるきっかけがたくさんあります。コミュニティ活動の重要性、担っている人々の努力を理解し、また、新たに参加する人の不安を受け止めて、お互いに壁を取り払いながら、様々な分野の交流の輪が重なり、広がっていくしくみをつくります。

■みんなで守る

正しく防災や防犯への理解を深め、下町らしい人と人との関わり合いの中で、いざという時は地域が一丸となって助け合える、自助・共助・公助の連携による、安全で安心なまちをつくります。

■認め合い、調和する

年齢や性別、障がいの有無、人種や国籍を超えて、互いの違いを認め合い、相手のことを尊重し、思いやりながら、穏やかな平和の中で、ともに暮らせる地域をつくります。

地域活動、防災防犯における区民等の意見

第3部会 地域活動、防災・防犯分野

●審議会委員からの意見 ★区民からの意見（WSなど）
◆職員からの意見

要素（区民等からの意見）

「人と人とのつながりが織りなす地域力日本一のまち」

- ・様々なコミュニティの重なりが重要●
- ・コミュニティの連携を通じた課題解決●
- ・デジタルコミュニティ●
- ・ひとのつながりのある街（高齢者も子育て世代も単身も）★
- ・多世代交流の場をつくる/皆をつなぐ●★
- ・ゆるやかなつながり●★

■つながりを重ねて、広げる

- ・入会のハードルを下げる●
- ・コミュニティづくりの3段階●
- ・産学官民の連携した地域コミュニティの醸成・強化◆

■みんなで守る

- ・多様なつながりがいざというときに効力を発揮する●
- ・みんなが安心して暮らせる/安心・安全なまち/何があっても助け合って対応できる/災害につよいまち●★
- ・地域力向上による災害時の共助体制の構築◆

■認め合い、調和する

- ・多世代交流●★◆
- ・外国人との共生●★
- ・マナーを守る●★

第3部会 景観・水辺空間、環境分野

2 10年後の未来予想図

景観、水辺、環境「日常に心地よさを感じられるまち」

普段の暮らしにおいても、豊かな水辺や江戸情緒を感じられ、そこで活動する人々の所作を含めて、心地よく過ごせる風景が生まれています。大切な地球環境を次世代に引き継ぐため、区民や事業者が、環境との共生を意識して、できることに取り組むまちをめざします。

■暮らしを包み込む景色をつくる

工場と住宅、新しいものと古いものなど、いろんな色が共存し、混ざり合う中で、人々の普段の暮らしまでもがやさしく包み込まれるような、心に残るまちなみをつくります。

■水と緑に親しめる

水辺と公園・まちがつながり、子どもも高齢者も、誰もが水と緑に親しみながら、楽しく遊び、穏やかに過ごせる空間となるとともに、たくさんの人が訪れ、交流が生まれるまちをつくります。

■環境を「自分ごと」にする

一人ひとりの小さな行動の積み重ねが環境に影響を与えます。ゴミの分別、雨水の利活用、再生可能エネルギーの使用など、適切な行動が広がるしくみをつくります。

景観・水辺空間、環境における区民等の意見

第3部会 景観・水辺空間、環境分野

●審議会委員からの意見 ★区民からの意見（WSなど）
◆職員からの意見

要素（区民等からの意見）

「日常の風景の中で心地よさを感じられるまち」

- ・江戸情緒を残したい●
- ・日常の暮らしの中に見えてくる風景●
- ・心休めるまち★
- ・自然豊か（緑、花）、自然を感じ触れられる環境と景観●★

■暮らしを包み込む景色をつくる

- ・気負った景観をつくるのではない、景観は生活と密接に関わる●
- ・今ある古いものと新しいものが融合しているような雰囲気良さを残す★

■水と緑に親しめる

- ・健康づくりに河川の遊歩道を活用●
- ・子どもも水辺に親しめる●
- ・花や緑の多いまち★
- ・水辺が愛着や安心感を感じられる環境に●
- ・水辺や緑の多い場所での憩いの場の整備★
- ・水のまちのPR★
- ・隅田川の産業利用★
- ・ウォーカブルなまちづくり◆

■環境を「自分ごと」にする

- ・雨水先進都市、雨水の有効活用●★
- ・子どもへの環境教育●
- ・区民が一緒に取り組む●
- ・エネルギーの自給率を高める●
- ・きれいなまちすみだ★

第3部会 まちづくり、都市基盤

2 10年後の未来予想図

まちづくり、都市基盤「安心と楽しさが両立するまち」

人々の生命と財産を守る、災害に強いまちが整備され、誰もが安心して暮らしています。区内それぞれのエリアごとの個性を際立たせながら、職・住・学・遊の様々な都市機能が調和して、ライフスタイルに合わせて自由に楽しめるまちになっています。

■安全に安心して暮らせる

すべての人が協力して、様々な手法を活用しながら、建物の不燃化や耐震化、避難場所の確保等に取り組み、地震・火災・水害など、あらゆる災害に強いまちをつくります。

■暮らしやすさの中でつながりを育む

それぞれの地域ごとの個性を活かしながら、交流を促進する空間づくりや、複合的な土地利用の調和を進め、暮らしに欠かせない様々な都市機能がコンパクトにまとまり、利便性が高く、あらゆる世代が暮らしやすい、住み続けられるまちをつくります。

■快適に移動できる

様々な移動手段に応じた適切な環境が整備され、子育て世帯も高齢者、障がい者も、誰もが自由・安全に移動できるまちをめざします。歩いて楽しい、歩きたくなるまちづくりを進めます。

まちづくり、都市基盤における区民等の意見

第3部会 まちづくり、都市基盤

●審議会委員からの意見 ★区民からの意見（WSなど）
◆職員からの意見

要素（区民等からの意見）

「安心と楽しさが両立するまち」

- ・どの世代も快適に暮らせるまち●★
- ・住環境の整備（区がより魅力的になるためのキーワード）★
- ・（ボール遊びができる、楽しい）公園の整備●★

■安全に安心して暮らせる

- ・安心して暮らせるまち●★
- ・災害に強いまち、災害に対する不安がないまち★◆
- ・沿道の不燃化●

■暮らしやすさの中でつながりを育む

- ・コンパクトなまちづくり●
- ・便利で住みやすいまち★
- ・多世代が共に暮らせるまち（高齢者、ファミリー）★
- ・ゆるく集まれる場所づくり、息抜きができる場所●★

■快適に移動できる

- ・区民の生活を支えるインフラが整備され、人々の移動が安全・快適に行われている◆
- ・どんな人も移動しやすい空間整備●★◆
- ・交通マナー●★
- ・歩いて楽しいまち●